

(別紙4-1)

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	
自己評価作成日	評価結果市町村受理日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0173700246&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0173700246&amp;SCD=320</a>
-------------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な 支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し、日々実践に向け取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近隣への挨拶、自治会などの参加、いつでも気軽に立ち寄っていただける様に工夫し交流している。又、学校帰りの子供たちが立ち寄り、庭の犬を可愛がる光景もみられる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会に加入しており、自治会行事(お祭り、廃品回収など)を回覧板等で常に把握し積極的に参加するよう努めている。又、ホームでの行事に地域の団体を招き参加して頂く等交流をもっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での様々な報告や意見交換、ご指摘を真摯に受け止め、各ユニットでの話し合い等を経てサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	担当者が必要時、連絡を取り合い、相談、情報交換を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議などで理解を深め意見交換を行い、拘束をしないケアに取り組んでいる。各ユニットにマニュアルを設置し身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修の参加や会議等での勉強会、話し合いによって理解している。又、スタッフ間での声掛け、情報交換を日頃から行うよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前に制度を利用していたことがあり、会議で学ぶ機会が設けられた。しかし現在、各スタッフが制度について理解はされていないように思える。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時解約時には、数度にわたる家族との面談や連絡を密にし理解を得られる様努力している。疑問点、不安なことは直ぐに確認し、ご家族が理解・納得出来る様対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が言葉で伝えられない部分も汲み上げ、スタッフ間で話し合う機会をもつ様にしている又、意見・不満・苦情があった場合はそれを受け止め、速やかに対応、反映できる様努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	相談はしているが反映されているかは分からないことがあるので、しっかり伝えられるように努める、又管理者の力量をつける。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日頃より助言、アドバイスがあり、スタッフ一人ひとりが向上心を持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	それぞれにあった研修に参加し、又、施設内で計画を立て、会議等により様々な課題、事例での講義講習を実施することによりトレーニングしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域(西胆振地区)でのグループホーム広連絡会に参加しており、管理者や職員が定期的に勉強会、意見交換等の関係作りをしており、サービス向上の取り組みをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族やケアマネを通し、十分な時間をかけ理解・納得されるまで話し合いが持たれている。又、管理者、スタッフは本人主体で話し合いの場を作り受け止めるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用前にも十分に話し合いの機会を持ち、自由に施設見学に来て頂く事により雰囲気を感じ、安心して入居されるよう機会を作り、又、管理者、スタッフも受け止めるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の状況を見極めた上で、他のサービスの利用案を助言、状況に応じた内容への支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で喜怒哀楽をともにし、アットホームな関係が維持出来る様に常に心掛けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係、理解、協力の下、共に支えていけるよう日頃から情報を共有し、関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会などの規制はせず、行事等に参加していただけるよう心掛けている。又、本人の意思を大切に、馴染みの店、美容室等を利用していただけるよう配慮している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一方的に介入するのではなく、その状況や感情を見極めた上で、その人を尊重するよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も家族会の参加や面会に来ていただいたり、気軽に遊びに来て頂ける様な雰囲気作り、声掛けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、ご家族の要望の把握に努めている。希望は出来る限り実現出来るよう努め、困難な時もその人の立場に立ち、検討するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居申込み時にライフヒストリーに記入して頂き情報を収集している。又、随時本人及びご家族、担当ケアマネから情報を得るなど、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントシートに個別に状態を記入し、本人の状況を総合的に把握している。又、毎月の会議にて日々の生活状況をスタッフ間で情報交換している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その時抱えている課題や目標をユニット会議等で話し合い、情報を共有し計画作成に反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の事例、情報をそれぞれファイルし、スタッフがいつでも情報を得られるよう管理されている。又、小さな気づきや状態をユニット独自の記録に記し情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の言動、家族面会時に要望等を聞き入れ、個々の要望に出きる限り受容し対応するよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等に民生委員や自治会長に参加にして頂き、入居者・ご家族・スタッフの関係をありのままに見て頂く機会を設け、又、消防訓練など定期的に行い地域資源との協働に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクター(協力医)の適切な診療、または本人、家族の意向を聞きいれ他の医療にも対応しているが、スタッフの中にはこの取り組みを把握していないスタッフがいるため周知する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週間に一度(状態によっては毎週)訪問看護師による健康チェックが行われ身体面、精神面からも診て頂いている。又、スタッフは日常の様子、病状変化等相談できる関係を築き上げている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院による心理的ダメージへの配慮、退院に向けての受け入れ態勢を整え、スタッフ間で話し合い、早期退院に向けての準備をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に主治医への状態報告、指示を受け、家族や各医療機関、スタッフの連携により事業所において出来る事、出来ない事をしっかりと見極め準備、支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習や全体会議等で定期的に勉強会を開いており、又、意識的に職員間で確認しあい、備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員の監修による自衛消防訓練が年2回実施され、助言・協力を得ている。又、運営推進会議や近隣住民とのお付き合いを通じ、協力を得られるよう関係作りに努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者それぞれに合った声掛けや対応をしている。記録等の管理も徹底し、保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	伝えたいこと、思いを日常生活の中で汲み取り、一人ひとりの能力に応じて、選択の幅や言葉掛けを考え、場面の提供を行う。答えを急がせず、待つ姿勢を大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間や一日の決まりはなく、ゆったりとその人らしい生活を送れるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好む色や形に配慮し、毎月訪問美容師によるカット、また通い慣れた美容室でのカットを実施し、心地良く生活して頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員同行の外出、出前等季節毎の催しに合わせ行っている。又天気や体調を配慮し、庭や外の風を感じられる場所などにて食事を楽しんでいただける様に支援している。利用者の能力に応じ、盛り付けや後片付けと一緒にやっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認が必要な入居者はケアプランに立案し、毎食チェックを行っている。又、食事量の少ない場合は栄養補助食品の提供。水分に関してはアセスメントシートに記載、チェックし、水分確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の義歯洗浄や歯磨き、うがいにて口腔内の清潔を保つように努めている。又、状態に応じスポンジブラシや綿棒を使い、紅茶うがいで口腔ケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自然排便を優先しプライドに配慮した上で、時間間隔によるトイレ声掛け・誘導の実施。極力紙パンツやバットの使用は避け、減らす配慮をしている。状態により紙パンツ・バットを使用していますが一人ひとりの排泄のリズムを把握し、失敗や苦痛が最小限になるよう配慮し支援している。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎食の食事のメニューを記載、記録に残し、なるべく食物繊維を多く含む食材を提供するなどの工夫をしている。又、適度な運動や散歩、腹部マッサージを行い便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの好みのタイミングにて入浴できるように支援している。入浴を好まない方には負担に感じないような声掛けを行い、楽しんで入浴して頂けるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムや習慣、状況に応じて支援している。又、眠れない時は安心する声掛けや話を聞いたり、時には添い寝をしたり、ホットミルクを提供する等の工夫を行い安心して眠れる環境作りを努めている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	アセスメントシートに処方箋を綴り日頃から確認出来るようにしている。又、服薬時には、名前・日付・時間を再度確認するなどし、誤薬のない様十分注意に努めている。副作用に関しては、処方時、薬剤師より助言を頂き、安全な服薬支援が出来るよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援	生活リズム、習慣、生活歴、出来ない事、		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事、好きな事、苦手な事、無理なくその人らしい生活が出来るよう支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や体調に考慮し、散歩や買い物、ドライブ等の外出が出来る様支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて個人管理されている方、事務所管理により必要に応じて支払いをされている方、又、管理が不十分な方もスタッフや家族と買い物に行く機会を作れるよう努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら携帯電話を所持する入居者がいたり、希望に応じ、電話や手紙のやり取りが自由出来る様支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや玄関に草花を飾り、雛人形やクリスマスツリーを飾るなど季節感を取り入れている。又、オレンジの温かみのある照明、浴室やトイレは死角になっており羞恥心に配慮。台所は2階吹き抜けのため、料理の匂い、音、雰囲気は常に感じられるような居心地のよい環境づくりがされている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下などの共用空間に椅子や休憩スペースが設けられており、居室以外でも一人になれたり、思い思いに過ごせるよう居場所が工夫され、提供されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時本人家族の意思を尊重し居心地の良い空間にして頂けるよう要望を受け入れ、個々の馴染みの物なども置き、安心して暮していただけるよう心がけている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるかぎり、生活の中で失敗のないよう支援ができるよう努め、その人のできること、できないことを見極め、少しでも自信に繋がるよう見守るよう心掛けている。		